



ET

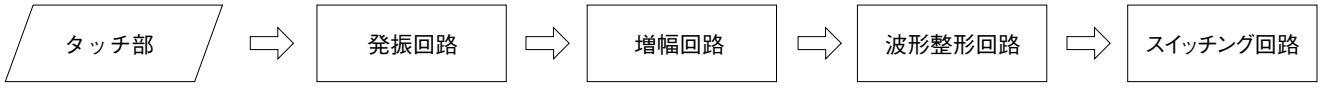
ET小形LED照光タッチスイッチ

長寿命でメンテナンスフリーを実現。
軽くふれるだけでスイッチング！



- 本体奥行き
34.2mm
- 検知方式
静電容量
- 出力
電流出力、電圧出力
感度調整ボリュームの内蔵で使用状態に合わせて応答感度を調整できます。
- アクセサリ
連結取付バリヤー

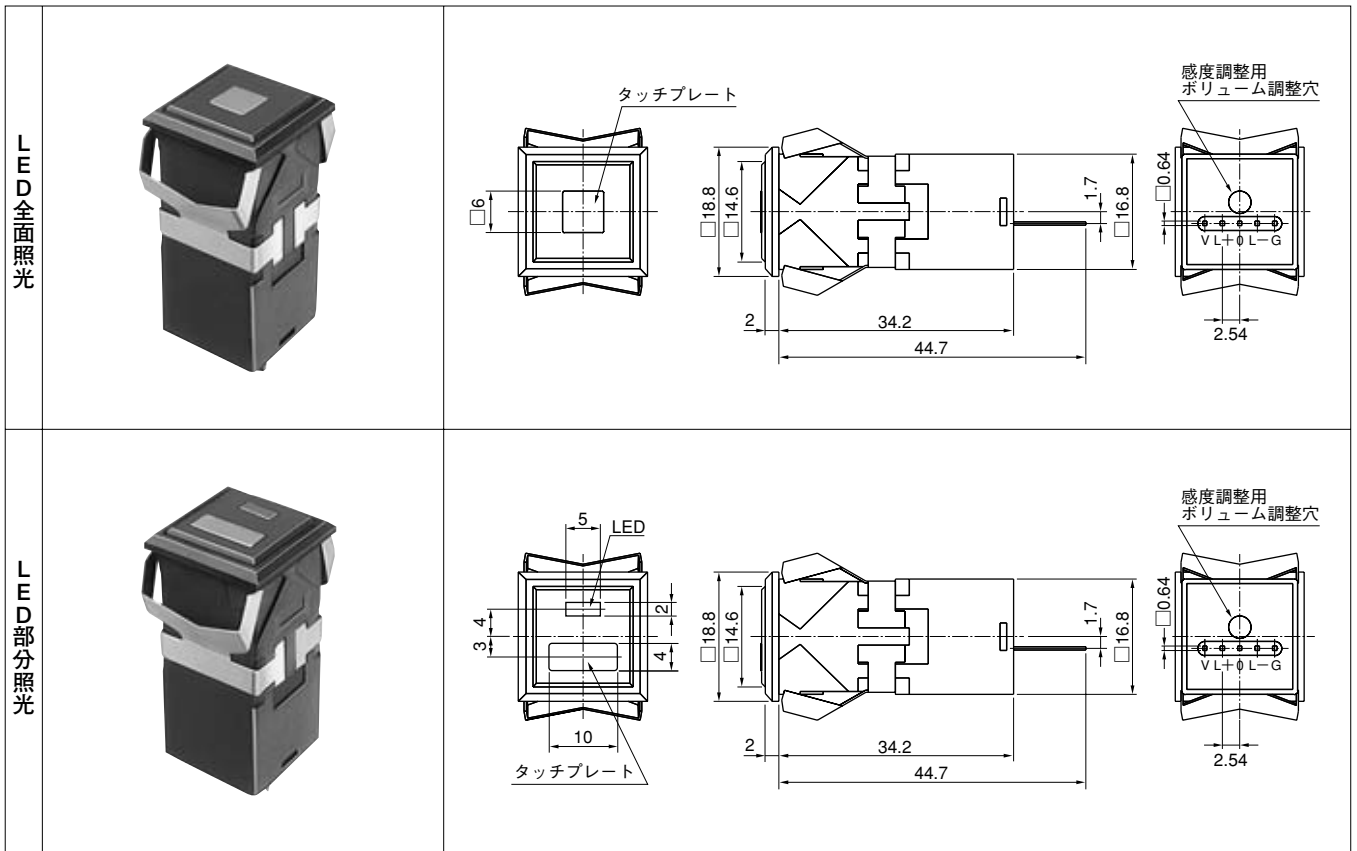
動作原理



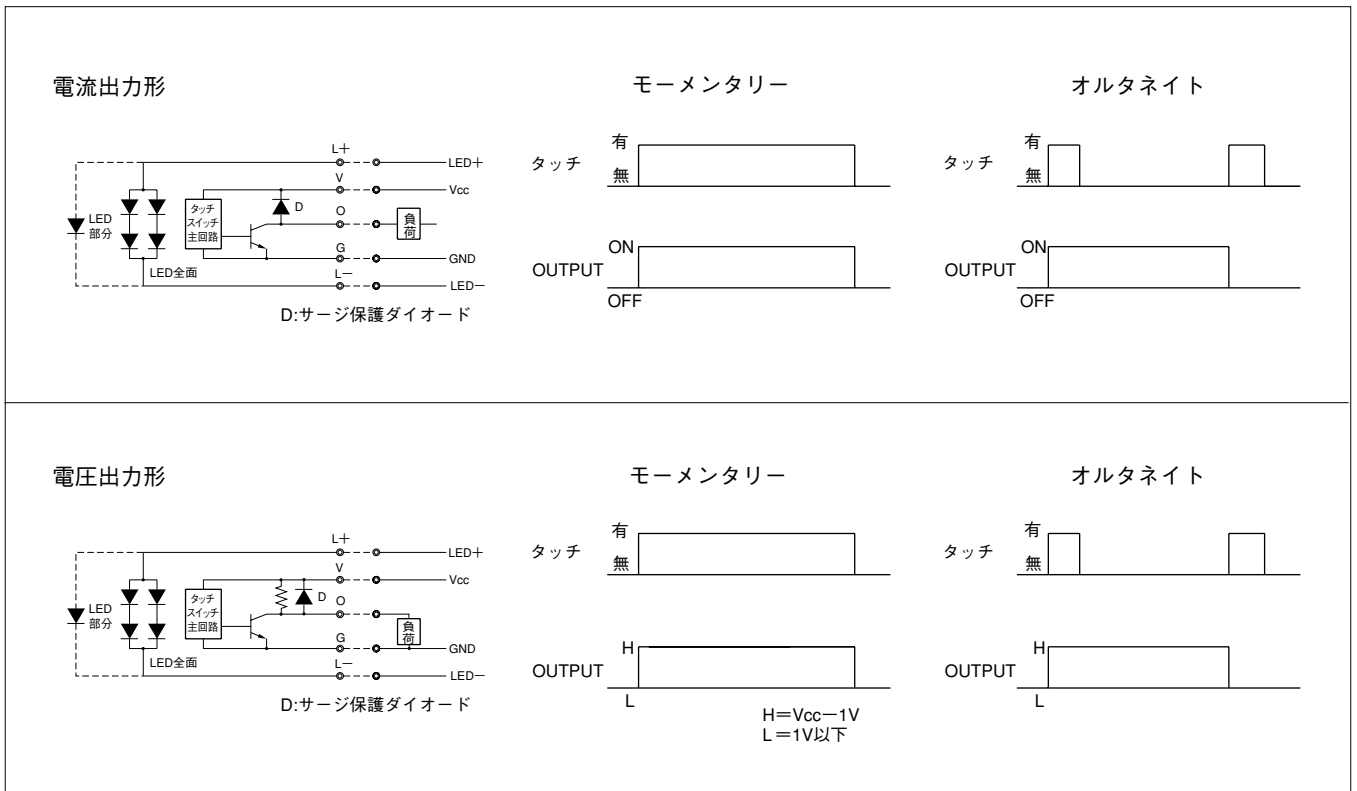
仕様

項目	モーメンタリー形		オルタネイト形	
	DC5~24V (共用)		DC5~24V (共用)	
電源電圧	DC5~24V (共用)		DC5~24V (共用)	
制御出力	電圧出力	電流出力	電圧出力	電流出力
	出力抵抗10kΩ	DC35V-200mA MAX.	出力抵抗10kΩ	DC35V-200mA MAX.
消費電流(無負荷時)	5mA以下 (12V時)			
応答感度	20pF以上 (出荷時)			
応答時間	20msec以下			
使用周囲温度	-10℃~55℃			
使用周囲湿度	20%~85%RH			

外形寸法／端子配置



内部接続



LED定格

●全面照光LED定格 (4灯にて換算済)

項目	最大動作電流 I _{FM} (mA)	直流逆電圧 V _R (V)	順電圧 V _F (V) 標準値	推奨動作電流 I _F (mA)	使用温度25℃以上の 場合の電流低減率
各色共通	60	8	4.2	40	0.8mA/℃

●部分照光LED定格

項目	最大動作電流 I _{FM} (mA)	直流逆電圧 V _R (V)	順電圧 V _F (V) 標準値	推奨動作電流 I _F (mA)	使用温度25℃以上の 場合の電流低減率
赤	10	5	1.9	5	0.13mA/℃
緑	30	5	2.1	20	0.4mA/℃
黄	20	4	1.9	10	0.26mA/℃

LEDの保護抵抗は内蔵しておりませんので、ご使用の場合には下表を参考にして直列に抵抗を接続して下さい。

●LED全面照光 (4灯にて換算済)

発光色	5V	12V	24V	電流値 (mA)
各色共通	20Ω ⅛W	200Ω ½W	500Ω 1W	40

※LEDをパルス点灯にてご使用の場合は、下記の条件で点灯願います。
 パルス幅 Pw=100μS、デューティ比 D_R=10⁻¹で
 I_{FM}=120mA (各色共通)
 他の電圧でのご使用の際は
 下式をご利用下さい。

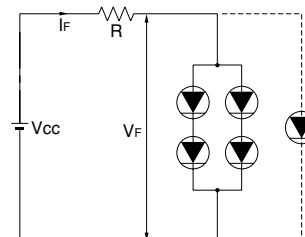
$$R = \frac{V_{CC} - V_F}{I_F}$$

V_{CC} : 電源電圧
 V_F : 順電圧
 I_F : 推奨動作電流

●LED部分照光

発光色	5V	12V	24V	電流値 (mA)
赤	620Ω ⅛W	2000Ω ⅛W	4300Ω ¼W	5
緑	150Ω ⅛W	510Ω ¼W	1100Ω 1W	20
黄	300Ω ⅛W	1000Ω ¼W	2200Ω ½W	10

パルス幅 Pw=100μS、デューティ比 D_R=10⁻¹で
 I_{FM}=50mA (各色共通)



パネルカット寸法

取付可能板厚: 1mm~3.2mm n: スイッチ個数

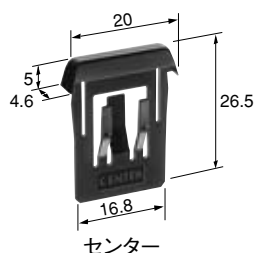
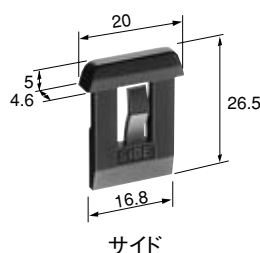
	標準取付	バリヤー取付
連続取付		

※パネルに塗装処理等の外装処理をする場合、外装処理後の寸法がパネルカット寸法になるようにお願いします。
 パネルカット寸法が小さくなりますと動作不良の原因となります。

アクセサリ

バリヤー

バリヤーを使用することにより、誤動作防止およびパネルデザインの向上をはかれます。
 また使い方によりそれぞれサイドバリヤー、センターバリヤーの2種類に分かれます。

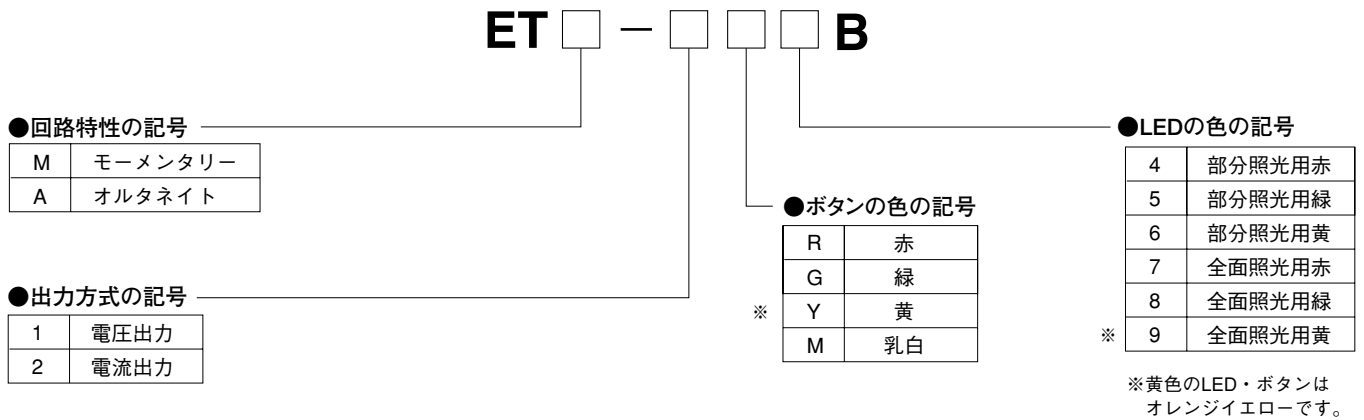


バリヤー必要数N n: スイッチの数
 N=サイドバリヤー1対+センターバリヤー×(n-1)

形名		
色	センターバリヤー	サイドバリヤー
黒	DH-324-B	DH-323-B
白	DH-324-W	DH-323-W

※ガードカバーはDH-450を転用可能です。

形名の指定方法



取扱い注意事項

1. 電源間接続に対しては適当なCRの直列回路やバリスタ、アバランシャダイオードなどによるサージ吸収回路が有効です。
2. 電源の配線が長くなったり、タッチスイッチの近くにノイズ源がある場合、ノイズにより誤作動を起す場合がありますのでシールド線を使用するか、適当なノイズ吸収回路を接続して下さい。
3. スイッチングレギュレーターを電源として使用する場合、電源の発振ノイズにより誤作動する場合がありますので、ご注意下さい。
4. 温湿度の変化により、動作感度が低下するような場合には、裏面の「ボリューム調整穴」にマイナスドライバーを差し込み、ボリュームを調整して使用して下さい。